

**高等学校・地域における日本語指導・支援に関するヒアリング**

認定特定非営利活動法人カタリバ Rootsプロジェクト

報告者 宮城千恵子（Rootsプロジェクト現場責任者）

**1 学校・団体の概要**

学校・団体名	認定特定非営利活動法人カタリバ Rootsプロジェクト（外国ルーツの高校生支援）
	団体の場合 主な事業内容（外国ルーツの若者の自立をささえる進路・キャリア支援） 規模（所属スタッフ人数など）（常勤2名、業務委託4名、学生スタッフ2名）
住所	東京都杉並区高円寺南3-66-3 高円寺コモンズ2F
代表・連絡先	今村久美・03-5327-5667
ウェブサイト等	<a href="https://www.katariba.or.jp/">https://www.katariba.or.jp/</a> （全社） <a href="https://note.com/kataribaroots">https://note.com/kataribaroots</a> （活動紹介）

**2 指導・支援対象の生徒について**

（今回報告の群馬県）

- (1) 人数
- (2) 言語文化背景
- (3) 滞日期間

	夏期 (1校)	冬期 (2校)	ルーツ	滞日期間
説明会参加人数 「外国につながる生徒対象」という告知 で集まった生徒（*1）	24 (*2)	10	パキスタン 3 ブラジル 2 スリランカ 2 アルゼンチンと ペルー 1	1.5世 10 (平均4.8年)  2世 3
事前プログラム参加人数	9	12	ペルー・フィリ ピン 1	
1Dayインターン参加人数	4	10	フィリピン 2 ミャンマー 1	
事後プログラム参加人数	4	10	インド 1	
報告会参加人数	3	10		

参考：群馬県の日本語指導が必要な高校生の人数 77名（文部科学省「学校基本調査（令和3年度）」より）

（\*1）日本語指導の必要性の有無に限らず生徒の判断で支援ニーズがある場合は受け入れ対象としている

（\*2）学校が想定していた倍の人数の生徒が集まった

- (4) 来日理由（在留資格も含めて）

親の都合（家族滞在）、難民（特定活動）、その他「わからない」と回答する生徒多数

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット（ユニットC）

文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」事業

### 3 指導・支援体制について

- (1) 外国人生徒等の教育／支援に携わっている方の指導・支援内容・立場・人数
- 支援担当者への指導・支援内容：メンターの配置及び、月1~2回程度の勉強会の実施、自学習用のコンテンツの整備
  - 立場：学生・副業人材・フリーランスへの業務委託（常勤スタッフは全体統括やコーディネーターが主）
  - 人数：4~6名（今回報告する群馬県以外の地域も含む）
  - 担当業務：外国ルーツの高校生向けキャリア伴走（移動歴や強みの棚卸し、キャリアの探究）  
※学習支援や進学・就職支援のプロというより、ユースワークに重きをおき、悩みや課題を整理した上で、学校や専門家と連携しながら生徒一人ひとりの課題解決を目指します。
- (2) 組織内・外の指導・支援の仕組み・組織
- 群馬県と外国にルーツを持つ高校生のキャリア支援において連携協定を締結
  - 外国人活躍推進課と協働して「多文化共創担い手育成事業 Rootsインターン」の企画運営
  - 今後の展開として、地域の支援団体とも連携予定

### 4 ご報告くださる取り組みについて

「多文化共創担い手育成事業 Rootsインターン」

- (1) 目的  
(2) 取り組み 実施期間、内容

#### ●実施背景：群馬県「多文化共創担い手育成事業」とは

「多文化共生・共創推進条例」を制定している群馬県では、その実現に向けて、ともに価値を創造する外国人材の確保が課題となっています。そこで、群馬県は、将来を担う若い世代の多文化共創への参画を推進するため、今年度から新たに「Rootsインターン」の取り組みを始めました。この取り組みにより、外国人県民を多文化共創社会の担い手として育てていきます。

#### ●プログラム全体像（夏期・冬期の年2回）



#### (3) 成果と課題

- 成果
  - 高校生
    - まだプログラム期間中なので昨年度の参考ですが、「私は自分から大人とのつながりを見つけていける」という質問項目でのポジティブ回答の増加
    - その他、インターン後に継続してキャリア探究を行っている層のセルフアウェアネスや自己肯定感/効力感の向上

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット（ユニットC）

文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」事業

- 受入れ企業の方
  - 「この機会（Rootsインターン受入れ）を通して日本社会の未来の可能性を感じることができた」（群馬 3.44 ※4段階評価）
  
- 課題
  - 途中離脱者減
    - 入学直後の関係性づくり
      - 学校と連携した授業を通じた関係性の構築（生徒-先生方、生徒-地域の大人・学生、生徒-カタリバ）
  - 行政の部署を越えた連携を生み出すコーディネート（地域創生部と教育委員会等）
    - ビジョン共有からの役割分担
    - 群馬県多文化共生・共創推進基本計画との接続